

令和3年度
埋蔵文化財調査士補
資格試験

【Ⅱ】 小論文問題・答案用紙

【Ⅱ】 次の設問から2問を選び答案用紙に選択した問題番号を記入の上、それぞれ400字以内で述べなさい。（横書きで記述すること。）

- ① ストップ熱中症クールワークキャンペーンリーフレットでは、熱中症予防管理者等による適切な作業管理を実施することが重要であるとされている。熱中症予防のため、当該管理者等が巡視などにより確認すべき事項の5項目を述べよ。
- ② 遺物の図化に用いられる技術・方法について、その利点と課題を述べよ。
- ③ 民間調査組織としての利点を述べよ。

受験番号	氏名	Ⅱ（選択番号）	

試験日：令和3年10月16日（土）

会場：「連合会館」東京・御茶ノ水

公益社団法人 日本文化財保護協会

小論文

① ストップ熱中症クールワークキャンペーンリーフレットでは、熱中症予防管理者等による適切な作業管理を実施することが重要であるとされている。熱中症予防のため、当該管理者等が巡視などにより確認すべき事項を5項目記入してください。

回答例：

- ・ WBGT 値の低減対策は実施されているか。
- ・ 各労働者が暑さに慣れているか。
- ・ 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか。
- ・ 各労働者の体調は問題ないか。
- ・ 作業の中止や中断をさせなくてよいか。

② 遺物の図化に用いられる技術・方法について取り上げ利点と課題を述べよ

回答例：以下のいずれかに言及していること

- ・ 手測りによる図化：マコ、ディバイダ、キャリパーなどを用いる 利点：最小限の道具があれば実施できること、課題：精確さや再現性に劣る
- ・ 写真トレース：レンズ収差等を補正したオルソ画像を用いる 利点：写真と図を同時に作成できる 課題：複数面の写真撮影が困難な場合がある、断面は手測りなどの併用が必要
- ・ 三次元計測データ：レーザースキャナー、3D 写真計測などのデータを用いる 利点：展開図や断面図の作成が容易、画像処理も適用できる 課題：データ取得・解析に専用機材や技術が必要、コスト面で手測りや写真トレースに劣る場合がある

③ 民間調査組織としての利点を述べよ

回答例：

- ・ 遺跡の時代や種別により担当者を選べる
- ・ 不得意の時代や種別でも社内の調査員から指導、協力が受けられる体制がつかれる。
- ・ 大規模調査であっても JV 方式、または協力的会社として各社の得意分野の協力のもとに実施可能。特にデジタルによる遺構図作成や、調査員、作業員の派遣など。
- ・ 安全対策に精通している。